



# 村のしごと

## 認定 7/19



▲地域再生計画の認定書

備した施設の用途を変更する場合に、相応分の補助金を返還しなければなりませんでしたが、今計画の認定により、補助金を返還しなくとも用途変更ができるようになりました。保育所の施設改修工事は、今年度中に終える予定です。

## 地域再生計画

「までいライフによる優しい笑顔と心が満ちた村づくり」が

村が国へ申請していた地域再生計画「までいライフによる優しい笑顔と心が満ちた村づくり」が認定されました。地域再生計画とは、村が3月に認定を受けた構造改革特区（どぶろく特区）のように、各種規制緩和策について市町村が国へ申請し、これを国が認定するものです。特区は、個人や民間でも申請できますが、地域再生は地方公共団体が対象です。今回認定された計画の概要は、飯樋町の保健センターの一部を保育所などに転用して、保健福祉や子育ての連携を強化するものです。これまで、保健センターのように国の補助を受けて整



▲東京都内で行われた認定書授与式

村行政改革懇談会（庄司和明会長）と村が主催する第1回自立推進セミナーが「いちばん館」で行われました。村民65人が出席したセミナーでは、鮫川村役場総務課主幹兼課長補佐の鈴木眞理子さんが「鮫川村の自立への取り組みについて」と題して講演しました。鮫川村は、平成14年に棚倉町と塙町との法定合



▲セミナーの様子

併協議会を設置したものの、その後の住民投票で反対票が7割を占めたことから協議会を解散し自立の村づくりを進めています。講演で鈴木さんは高齢者中心の豆づくりによる医療費軽減や行財政改革など村の取り組みを紹介したほか、「合併か自立かは手段の違いであって、村の将来を見据える視点は同じ。自立の道は自分の地域を好きになることだと思ふ」と、村への熱い思いを述べました。講演後には、出席者から質問が相次ぐなど、活発なセミナーとなりました。なお、2回目のセミナーは、8月25日に開催される予定です。

## 家庭・地域で 5つの取り組みを進めよう

### 7/20 青少年健全育成を進めるつどい



▲熱心に話し合いが行われたグループ討議

村子供会育成会連絡協議会（佐藤峯夫会長）主催の「青少年健全育成を進めるつどい」が村公民館で開かれました。つどいでは、はじめに原町市生涯学習アドバイザーの紺野幸氏から、青少年健全育成について問題提起がされた後、グループ毎に話し合いが行われました。熱心な討議の結果、各家庭・地域で次の5つの取り組みを進めていくことが確認されました。夏休み中は、子供たちと接する機会がたくさんあります。ぜひ、家庭や地域で青少年健全育成を進めましょう。

## 家庭・地域で進める5つの取り組み

- 大人から進んで子供たちにあいさつしよう。（まず夫婦、親子から実践）
- 家の手伝いをさせながら、子どもと積極的に会話をしよう。
- 生活のルール（起床・就寝時間、門限、出かける時は行き先を告げて...）を定めて、みんなで守ろう。
- 地域行事（子供会・老人クラブとの交流、地域美化活動など）には親子で参加し、子供たちの名前を覚えよう。
- よその子供にも良いことと悪いことを教えよう。

## 誕生おめでとう

赤ちゃんの名まえ 親の氏名 行政区  
細杉 新太くん 剛 志・裕 香 前 田  
すくすくと元気に育ってね

## 結婚おめでとう

氏 名 行政区  
届け出はありませんでした

## お く や み

氏 名	年 齢	行政区
大久保 ヒデノ	89	大 倉
菅 野 ヨシ子	72	比 曾
森 永 悟	72	前田・八和木
目 黒 タキ子	71	大久保・外内

ご冥福をお祈り申し上げます

（平成17年6月21日から7月20日まで届け出のあったものを掲載）  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

## ひとのうごき

（平成17年7月1日現在）

人 口	今月 (前月比)	昨年同月
男	3342人 (-5人)	3399人
女	3395人 (-2人)	3456人
計	6737人 (-7人)	6855人
世帯数	1878戸 (-1戸)	1861戸

◆◆◆6月1日～30日までの人口動態◆◆◆  
転入 9人 転出 12人  
出生 3人 死亡 7人  
（国勢調査に基づき増減された現住人口）

## これが私たちの自立の道 第1回自立推進セミナー